

- ウ 共同で作成にあたる。
- ② 作成の手順及び留意点
- ア 内容項目と目標，評価事項などを洗い出し，関連表作成（ T_1 ）
- イ 関連表から単元指導計画（1時間毎の計画）を T_1 、 T_2 が共同で作成した。

- ウ 単元指導計画により T_1 と T_2 が共同で教授過程案を作成し，学習事項・活動・教師の役割分担の位置づけをした。
- エ 学習内容の適否及び配列は学習集団と教師の役割分担などから綿密に検討して立案した。

目標・内容の関連表

| 項目 単元名 | 細 目 標 | 内 容 系 列 | 評 価 項 目 |
|--|---|--|---|
| もの の あ た た ま り か た | 1. 熱は高い温度のものから低い温度のものに移ることを理解させる。 2. 等温になった物体間の熱の移動はなくなることを理解させる。 3. 熱は時間と共に変化することを理解させる。 | ○ 日常生活経験を通しての予想 ○ 湯と水をふれ合わせての温度の変化 ○ 実験のまとめと考察 | ○ さめ方は同じかどうか予想を立てさせ、ノートさせてみる。 ○ 熱は温度の高い方から低い方へ移動することがわかったか。 ○ 実験結果の記録表のつくりかた。 |

単元指導計画

| 項目 小単元 時間 | 細 目 標 | 内 容・活 動 | 教 授 と 分 担 | | 形 態 | 準 備 資 料 |
|-----------------------|--|---|--|---|--------------------------------|------------------------------------|
| | | | T 1 | T 2 | | |
| 温 度 第 1 時 | 熱は温度の高いものから低いものへと移動し等温になると移動を停止することを理解させる。 | 1. 温度の高いものと低いものをふれ合わせた場合の変化 2. 湯と水をふれ合わせた場合の変化 3. 結果についての発表と話し合い。 | 1. 日常生活経験から実験の結果の予想を立てさせる。 ○ 温度の高い方 ○ 温度の低い方 ○ なぜ変わるのか。ノートさせる。 2. 高温から低温への熱の移動を家験からわからせる。 ○ 温度の測定をさせる。 ○ 表にまとめさせる。 | ○ 個人・集団の思考の過程をとらえる。 ○ 準備をする。 ○ グループ指導をする。(3班・4班の担当) (安全・正確・方法やねらい・結果のまとめかた) | 中 小 | ピーカー 水そう 棒温度計 グラフ ペーパー |